

令和5年度 秋田県健康づくり審議会 がん対策分科会
消化器がん部会 議事概要

- 1 日 時 令和5年12月21日(木) 18時～19時15分
※オンライン開催(Zoom)
- 2 委員の出席 出席委員数：11名
欠席委員数：0名
- 3 オブザーバー(検診機関)の出席：3名
- 4 議 事
 - (1) 報告事項
市町村における胃がん・大腸がん検診実施状況について
 - (2) 協議事項
秋田県の精度管理評価指導基準及び改善指導について
 - (3) その他

議 事 概 要

(開会宣言、健康づくり推進課長のあいさつに引き続き、議事を開始した。)

議事(1) 報告事項① がん検診事業のあり方について

(厚生労働省がん検診のあり方に関する検討会報告書)

報告事項② 市町村における胃がん、大腸がん検診実施状況について

- 事務局 (資料1、資料2に基づき説明)
- 部会長 令和2年度に受診者数が大きく減減少した市町村がある理由は何か。
- 事務局 令和2年の春、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえて一時検診実施を控えるよう厚生労働省から通知があり、その時期に準備を始める必要があった市町村は影響が大きかったものと思われる。当初より秋以降に検診を行う予定の市町村は、ある程度状況が落ち着いてきていたことから比較的影響が少なかったものと思われる。
- 神委員 秋田市は年度末に再開の意向があり、実施したと記憶している。
- 部会長 最後は市町村の判断になると思われるが、県から助言を行う等、当時の対応について改善すべき余地はなかったか。
- 事務局 令和2年3月に、厚生労働省から特定健診・がん検診の受診を控えるよう通知が発出され、各市町村に通知した。その後、6月頃に再開するよう通知が発出され、こちらも各市町村に通知したが、一度取りやめを決定した市町村では、規模が大きい市町村ほど再開のための準備に苦勞したと聞いている。また、県医師会からも検診受入の話をいただいたので、各郡市医師会と協議のうえ、県内の診療所を含めた医療機関での受診について市町村に周知をした。
- 部会長 胃内視鏡の要精検率について、他都道府県の令和2年度実績と比較して極端に低い。生検は20件に1件程度実施していたと記憶している。

議事(2) 協議事項 秋田県の精度管理評価指導基準及び改善指導について

- 事務局 (資料3に基づき説明)
- 部会長 チェックリストに関しては改善点があるか。
- 事務局 指導対象となることが続いている市町村に対して今年度個別ヒアリングを行い、可能なものから改善に取り組んでいただくよう申し伝えた。今回一部改善が見られており、一定の効果があつたものと思われる。
- 部会長 内視鏡の要精検率が低すぎないか。
- 神委員 高次医療機関に紹介した数であればこの程度であると思われるが、生検数はもう少し多いはず。

- **事務局** 市町村が国に報告したデータを速報値として集計している。秋田県総合保健事業団企画調整課にも念のため確認したが、本資料と同じ人数であると伺った。
- **部会長** 生検を実施したうち病院に紹介した数だけになっていないか。普段読影している感覚と比べて違和感がある。
- **神委員** 私も同様の感覚である。秋田県総合保健事業団の保有データを確認する。
- **部会長** 要精検者数は精検受診率にも影響するため、速やかに情報を整理いただきたい。
- **部会長** 市町村のチェックリストの遵守状況について、昨年度は胃がん（エックス線）C以下を指導の対象としていたが、今年度も同様にC以下としてよろしいか。
（「異議なし」により、市町村チェックリストについて、C以下を指導対象とすることで決定）
- **部会長** 検診機関のチェックリストの遵守状況について、昨年度は胃がん（エックス線）B以下を指導の対象としていたが、今年度も同様にB以下としてよろしいか。
（「異議なし」により、検診機関チェックリストについて、B以下を指導対象とすることで決定）
- **部会長** 市町村及び検診機関の精検受診率の評価について、昨年度は胃がん（エックス線）80%未満を指導対象としていたが、今年度も同様に80%未満としてよろしいか。
（「異議なし」により、精検受診率の評価について、市町村・検診機関とも80%未満を指導対象とすることで決定）
- **部会長** 胃内視鏡検査の要精検者数は精検受診率にも影響するため、再計算をよろしくお願いしたい。
- **部会長** 大腸がん検診の精検受診率が低い背景について、どのような答えが多かったか。
- **事務局** 電話が繋がらない、あるいは大腸内視鏡検査に対する抵抗感といった回答が多い。
- **岩瀬委員** 横手市では電話の他、封書で2回程度受診勧奨をしている。高齢の未受診者の中には精密検査でも便潜血検査を希望する人がいると聞いている。その人たちが大腸内視鏡検査を受診するようになれば精検受診率の改善も図られるものと考えます。
- **部会長** 封書による勧奨は他市町村も実施しているか。
- **事務局** 多くの市町村で実施していると伺っている。

- **部会長** 精検の受診勧奨は各市町村が行っているのか。
- **事務局** 電話や封書などを組み合わせ、各市町村が工夫して実施している。
- **部会長** がん検診に関する各市町村の受診勧奨（特に精検受診勧奨）は、国が受診を特に推奨する40－69歳の方を重点的に行うよう、県から啓発を図っていただきたい。
- **部会長** 市町村のチェックリストの遵守状況について、昨年度は大腸がんC以下を指導の対象としていたが、今年度も同様にC以下としてよろしいか。
（「異議なし」により、市町村チェックリストについて、C以下を指導対象とすることで決定）
- **部会長** また、検診機関のチェックリスト遵守状況について、昨年度はB以下を指導の対象としていたが、今年度も同様にB以下としてよろしいか。
（「異議なし」により、検診機関チェックリストについて、B以下を指導対象とすることで決定）
- **部会長** 市町村及び検診機関の精検受診率の評価について、昨年度は大腸がん70%未満を指導対象としていたが、今年度も同様に70%未満としてよろしいか。
（「異議なし」により、精検受診率の評価について、市町村・検診機関とも70%未満を指導対象とすることで決定）
- **事務局** 内視鏡検診に関する評価については、本日の御指摘を踏まえて再度精査する。結果公表及び次年度の調査は今年度と同様に実施する。
- **部会長** 胃内視鏡検査の要精検者数について再確認いただきたい。

以上